

家政学研究科 生活経済専攻

【中学校専修免許状（家庭） 高等学校専修免許状（家庭）】

①教員養成の目標

家庭科教育専修は、衣生活・食生活・住生活・生活経営の4領域から、暮らしと環境（人、もの、生活など）の関係を科学的にとらえ理解するとともに、人間の発達段階に応じた課題について考察し、周りの学生や教員とかかわりながら課題を解決する方策について考え、提案できる高度な専門性をもつ教員養成を目標とする。そして、中学校・高等学校各段階の家庭科学習において、生活の質的向上につながる学習課題を設定し、課題解決的な学習活動を構成して指導でき、実践的な力量をもつ家庭科教育の専門家の養成をめざす。また、社会人や教職経験者にも、より高度な専門性や、新しい研究手法や視点を教えることにより、その時代の要請とレベルにあった教員を、教育の現場に送ることを目標とする。

②当該目標を達成するための計画

1年次においては、生活経済論各コースを通してグローバルな環境問題から身近な生活問題まで、生活者の視点をもって総合的に理解するとともに、衣生活・食生活・住生活・生活経営など各領域の専門性を深める。2年次には、各領域の演習科目や特別研究を通して、生活を構成している知識や技術の理解をより深化させ、より高度な専門性をもつとともに家庭科教育専修内容の総合的な理解を深める。